

福祉

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
福祉	生活支援技術	4	3年次・H2 I1群	選択

目 標			履修の条件・連絡			
自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解し、基礎的な介護の知識と技術を習得するとともに、様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を身に付ける。			福祉サービス系列の生徒は必ず履修する。			
使用教科書 (出版社)	生活支援技術 (実教出版)	副教材 (準備物)	介護福祉士実務者研修テキスト第2巻 介護 I (中央法規出版) 医療的ケア (中央法規出版)			
学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容 (単元・項目)	学習のねらい		
	1 学 期	4	第2編 自立に向けた生活支援技術 第2章 家事の介護	第1部 医療的ケア実施の基礎 救急蘇生 演習	<ul style="list-style-type: none"> 家事の意義や目的について理解する。 サービス利用者の状態や状況に応じた自立に向けた家事の介護に関する基礎的な知識と技術を習得する。 入浴や清潔保持の意義や目的について理解する。 サービス利用者の自立に向けた入浴や清潔保持などの介護に関する基礎的な知識と技術を習得する。 	
		5	第6章 入浴・清潔保持の介護			<ul style="list-style-type: none"> 関連する法制度や倫理、関連職種との役割、感染予防及び健康状態の把握など医療的ケアを安全・適切に実施するための基礎的な知識と技術を習得する。 シミュレーターによる救急蘇生法が手順に沿って安全にできる。
	6	第8章 睡眠の介護		第2部 喀痰吸引の基礎知識 喀痰吸引の実施手順と留意点 演習	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠の意義や目的について理解する。 サービス利用者の状態や状況に応じた睡眠の介護に関する基礎的な知識と技術を習得する。 	
7	第9章 レクリエーションにおける介護		<ul style="list-style-type: none"> レクリエーションの意義や目的について理解する。 サービス利用者の状態や状況に応じたレクリエーション活動の役割を取り上げ、具体的なレクリエーションの基礎的な技法を習得する。 			<ul style="list-style-type: none"> 喀痰吸引に必要な人体の構造と機能、急変状態への対応など喀痰吸引を安全に実施するために必要な基礎的な知識と実施手順を習得する。 経管栄養に必要な人体の構造と機能、急変状態への対応など経管栄養を安全に実施するために必要な基礎的な知識と実施手順を習得する。
2 学 期		9		第3編 終末期・緊急時の介護 第1章 終末期の介護 第2章 緊急時の介護	学習のまとめ	
	10	<ul style="list-style-type: none"> 経管栄養の基礎知識 経管栄養の実施手順と留意点 演習 				
	11					
12						
学 習 評 価	観	点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	規	準	利用者の自立を尊重した生活を支援することに関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいるか。	生活支援技術に関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付け、支援のあり方について考察することができているか。	生活支援技術に関する基礎的な知識を身に付け、介護を必要とする人の尊厳を守る介護実践のために活用しているか。	自立生活を支援するために必要な日常生活における基礎的な知識を習得し、介護を必要とする人の尊厳を守る介護の基本を理解しているか。
	手	段	・取組状況の観察 ・ワークシート	・レポート ・ワークシート	・取組状況の観察 ・レポート	・定期考査 ・ワークシート
	各学期や年間の学習状況の評価方法		<ul style="list-style-type: none"> 考査は年5回実施し、各回とも考査点と平常点により成績を評価する。 平常点は、出席状況、授業態度、提出物等を総合的に判断して評価を行う。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 実務者研修の内容を含む。 「こころとからだの理解」の学習内容と関連させながら学習する。 「医療的ケア」は喀痰吸引・経管栄養・救急蘇生法の演習がある。 					